

お宝発見！びっくり仰天！

先生みーつけた？



吉永 正彦

YOSHINAGA, Masahiko

数学専攻 教授 [代数学・トポロジー・組み合わせ論]

Character Point !!

出身都道府県：兵庫県

好きな食べ物：肉料理

趣味：散歩 / 天気の良い日に外で数学

吉永先生の研究紹介

主に超平面配置について研究しています。

「 n 次元空間の中に $n-1$ 次元の部分空間をいくつか置いたもの」が超平面配置です。

例えば「平面に直線を何本か置いたときに幾つの部屋に分かれるか」という問題がありますが、それを高い次元で考えたりしています。

超平面配置はトポロジー、組み合わせ論、代数幾何など数学の様々な分野と関わっているので、様々な分野の手法を使って研究しています。

超平面配置の研究では、部屋数や格子点など色々なものを「数える」ことが重要なテーマの一つです。数え上げ関数の背後にある構造への興味から、現在超平面配置のほか以下についても研究しています。

①距離空間の大体の大きさを表すと期待されている概念「マグニチュード」

②積分表示や級数表示をもつ実数

詳しくは「[吉永先生の研究者紹介ページ](#)」をご覧ください！



INTERVIEW

突撃！インタビュー



Q. 研究をしていて楽しい瞬間はありますか？

私にとって数学の研究というものは、ほとんどの時間は答えの見えないジャングルの中に迷い込んでいるような感覚です。しかし、時々バツと視界が開けて、遠くまで見渡せるようになる瞬間があります。そのような大きな体験はごくまれにしかありませんが、数日悩んでいた計算がうまくいった時、今まで見えていなかった関係が見えた時など、小さな楽しいことはたくさんあります。

Q. 大学時代の思い出を教えてください

学部生の頃、大学院生の先輩たちと毎週末グラウンドでサッカーをして、その後食事をしておしゃべりをするという生活をしていました。そのときの縁がきっかけで、サッカーに誘ってくれた先輩（実は現同僚の高橋篤史先生）がいる研究室に進むことになったので、サッカーをしていたことは私の進路を決めるうえで1つのポイントだったと思います。



お部屋の入り口には...



Q. 学生時代にやっておくとよいことはありますか？

私自身に関しては、学生時代にもう少しまじめに語学の勉強をしておけばよかったと思っています。私はポスドク時代にイタリアで1年半研究していたことがあり、その際にイタリア語を勉強しました。そのとき学んだことは、言葉は通じることが大切だから、下手でも堂々と話せばいいということです。そして、外国語は英語だけではないということを実感しました。おかげで英語でのコミュニケーションにも精神的な余裕が持てるようになった気がします。

SCHEDULE

とある1日のスケジュール

- 07:00 起床
- 08:30 大学到着
- 09:00 セミナー、授業
- 11:30 昼食
- 13:30 会議
- 16:00 研究・授業準備
- 18:00 大学を出る
- 24:00 就寝

学生時代のノートもたくさん！



二十・十二面体を被る吉永先生！

MY FAVORITE

先生ってどんな人？先生のお宝を調査！



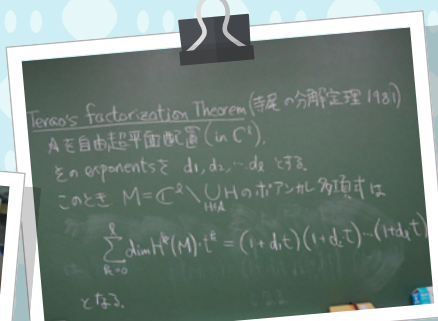
「学生時代に一生懸命読んだ本」

本をもって旅行に行くのが好きだったそうで、駅のスタンプを押したページを発見。中には書き込みや付箋がたくさん残っていました。



「多面体コレクション」

ストローとモールを使って簡単に作れる多面体のコレクション。お子さんと一緒に家で作ったりしていたのだとか。実物を触るといろいろインスピレーションがわくそう。



「寺尾の分解定理」

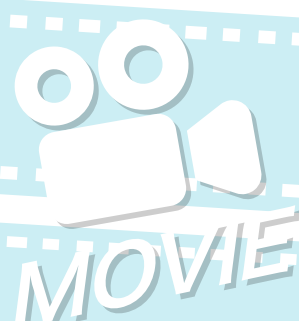
知りたいけど難しい「空間の形」を一見関係のなさそうな「よく知っている情報」から導出する魔法のような公式なのだそうで、この定理を知った時の感動が研究の方向を決める動機になったとのこと。

MESSAGE

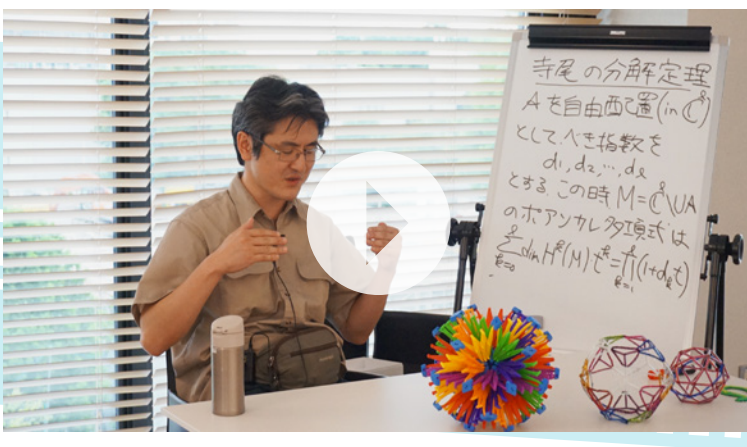
先生から皆さまへ



学生さんには夢中になり、没頭できる勉強や研究のテーマに出会ってほしいと願っています。人が面白いと感じて夢中になり、没頭する集中力と自由なアイデアこそが学問のフロンティアを切り開く原動力だと思います。



インタビュー動画
YouTube にて公開中！



編集後記

とても研究熱心で、真面目な先生だなと感じました。難解な問題に対しても、実際に手を動かして取り組むという姿勢がかっこいいと思います。

「実物を触るとインスピレーションが湧く」という言葉の通り、体験を大切に様々なアプローチを試す姿勢が強く感じられました。学生時代に本を片手に旅行していたのはその表れだったのかもしれないですね！

面白いエピソードや研究の感動をたくさん聞かせていただきました。和やかに楽しい取材でした！



理学部生物科学科
編集者 T.Y



理学部数学科
編集者 Y.T



理学部物理学科
編集者 S.I

Thank you for reading...

インタビュー日 2022.09.06